

【組織づくり】

先日の研修を受けて、私自身の振り返りとしてこのたよりを発行します。ねらいとしては、研修で取り扱った内容を再度伝え直したり不十分さを補足したりすることです。

まずは、みなさんの貴重な時間を割いての2時間の研修へのご参加大変お疲れさまでした。

そもそも月に1回のこの研修は何のために行うのでしょうか。月に1回の研修に参加するだけでは、みなさんにとって、決して十分に成果が得られるものではないかもしれません。

しかし、一方で何もできないわけでもないと思っています。月に1回でできることは、みなさんが、法人の理念に向かって歩みをすすめること、加えて、ご自分の人生の歩みを進めるにあたって、『思考の整理』をすることをお手伝いすることだと思っています。

学習とは、「経験や知識の蓄積によって、新しいことを理解し、行動や思考に変化をもたらす過程」のことを指すと言われます。この研修だけで、『行動の変化』を求めることは残念ながら難しいと思いますが、『思考の変化』を求めることはできそうです。このような理由から、月に一回の2時間の短い学び（学習）ではありますが、考え方の整理や変化を目指してお手伝いをしていきたいと思っています。

さて、第一回目の研修では、『報連相をツールにした組織づくり』をテーマとしました。

研修の内容や方法については、高村代表や横山さんと複数回打合せをして決めさせていただきました。学ぶテーマとして、無限にある中から何を、どのような順序で選ぶのかについてはとても頭を悩ませましたが、皆さんがワンステップのリーダーとして、職員さんをマネジメントするお立場にあることをうかがったことから、「組織づくり」を第一回のテーマに設定をしたのでした。

みなさんのご意見の中で、「私は（マネジメントする）器ではない」とありましたが、お気持ちを十分理解します。私もそうでしたから・・・(^-^; しかし、研修の中でも話題にしましたが、その必要性は否定できないと思われます。

そこで、なぜ私たちは、マネジメントを進めなければならないのか、その理由を明らかにしたいと思います。

障がい福祉サービス事業所が「組織づくり」に取り組む理由

障がい児者支援の現場では、支援の質や継続性が利用者の生活の安定に直結するため、組織としての土台づくりがとても重要です。

1. 質の高い支援の提供

職員のスキルや考え方にバラつきがあると、支援の質にもムラが出ます。明確な理念や方針、共有

された支援の方法があることで、誰が支援しても一定の質を保つことができます。

2. チームとしての連携強化

障がい者支援は、職員同士の連携がカギになります。情報共有のルールや、信頼関係が構築された組織文化があれば、問題解決や緊急対応もスムーズに行えます。

3. 職員の定着とモチベーション維持

明確な評価制度やキャリアパス、働きやすい環境が整っていると、職員の離職を防ぎやすくなります。これは継続的な支援の提供にもつながります。

4. 社会的信頼の獲得

支援内容だけでなく、「どんな組織が支援しているか」は、利用者・家族・自治体からの信頼に大きく関わります。しっかりとした組織体制は、外部評価にも好影響を与えます。

5. 将来に向けた発展と安定経営

支援ニーズや制度は常に変化します。柔軟に対応できる組織体制があれば、新しい課題にも前向きに取り組め、事業の継続性を保つことができます。

組織づくりは、目の前の支援だけでなく、「支援を続けていける土台」を整える重要な取り組みです。

少し堅苦しい内容確認となりましたが、みなさんが、①「自分の支援の質を高める」ことについては疑いなく目的意識を持っておられると思います。まあ、今回、みなさんのポジティブで、自分を高めようとしている発信には、私自身も大変大きな刺激をいただき、大変感謝しています。一方で、②「一支援者として組織づくりに取り組む」ことは、上記の理由から有効性を感じていただけたと思いますが、なかなか実感を持つことができませんよね。このことは、すぐにはすんと落ちないかもしれませんが、この研修の中で徐々に『思考の変化』が進むといいなあと思います。

考え方として、『マネジメント（組織づくり）をしなくちゃならない』と思うより、『マネジメントをした方が、自分にも、相手にも、そして法人にもメリットがある』と思えるようになればいいなあと思います。

2回目以降の研修においても、このマネジメント（組織づくり）を意識しつつ、上記の①と②の目標達成を目指して研修を進めたいと思っています。

そして、そのために、まわりの人とのコミュニケーションを基盤とするため、お互いのことをよく知り、また、自分のことを発信する（報連相する）ことにより、法人の理念達成に向けて歩みを進めていくことができればと思います。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。